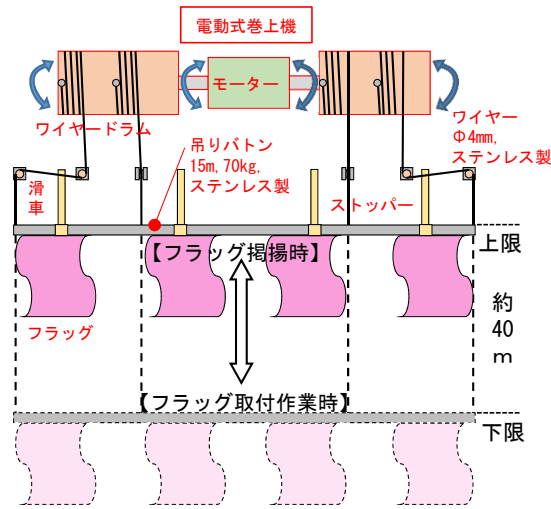


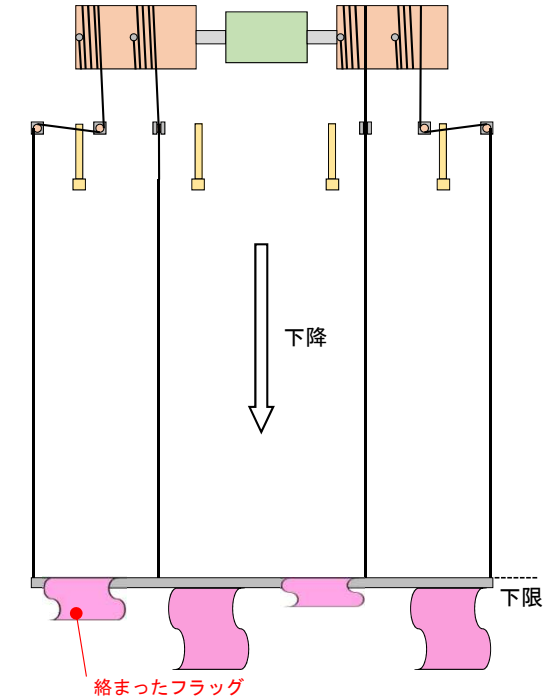
落下の経緯について【概略図】

A 通常作業イメージ

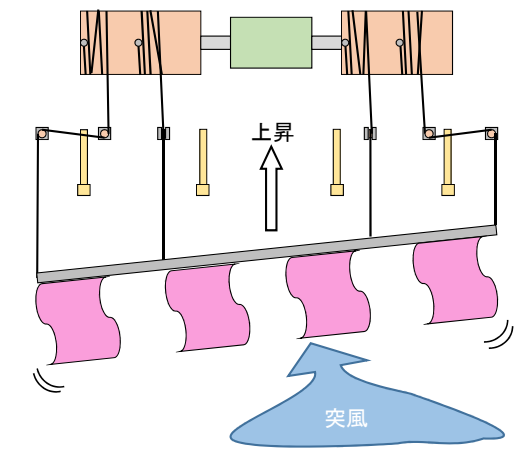


B 事故時作業イメージ

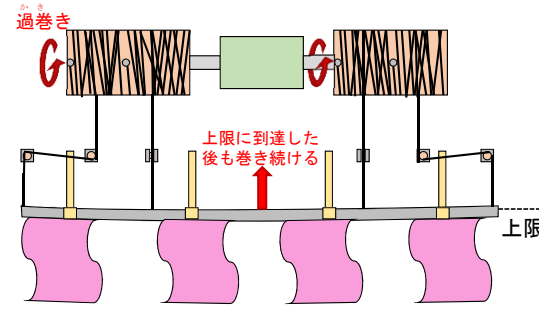
①風に煽られて吊りボタンに絡まったフラッグを修正するため、吊りボタンを電動式巻上機で下降させた。



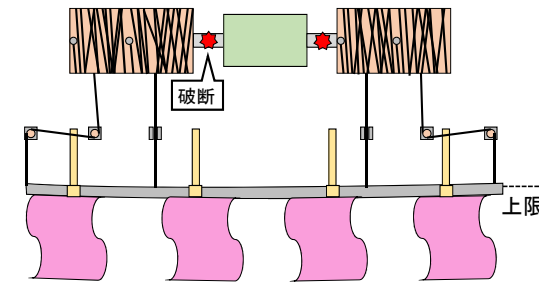
②フラッグを直した後、吊りボタンを上昇させたところ、吊りボタンは揺れながら上昇した。（瞬間的に突風が吹いていたと推定される。）吊りボタンが揺れている状況であったため、ワイヤーに弛みが生じ、乱巻きが発生した。



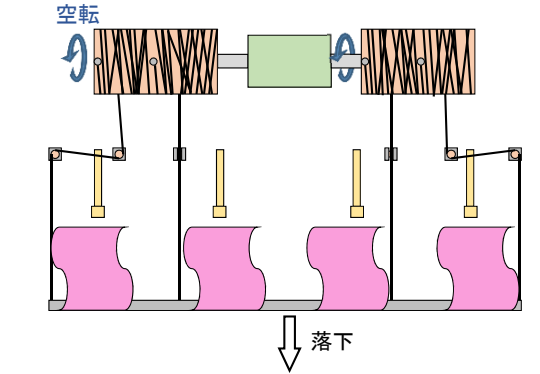
③ワイヤーが正常に巻かれなかったため、ドラムと連動して作動する制御スイッチが誤作動を起こし、吊りボタンが上限に到達した後も電動式巻上機が稼働し続け、過巻きが生じた。



④過巻き状態が継続したため、吊りボタン昇降装置に想定を上回る負荷がかかり、ドラムとモーターとの接続箇所が破断した。



⑤ドラムとモーターとの接続箇所が破断したため、ドラムとモーター連動が失われ、ドラムはモーターで制御できない状態（空回りの状態）となった。これにより、ワイヤーと吊りボタンの自重で吊りボタンが落下を始め、吊りボタンはスタンドの床面まで落下した。



⑥吊りボタンの落下に伴い、ワイヤーがすべて送り出され、落下時の衝撃でドラムに固定されたワイヤーの接続部に力が加わり、ワイヤーの端部が欠損したものと推定される。

